

シンポジウム

S1

本当の難症例とはなにか
～達人の嗅覚と返し技～

小宮山 彌太郎(ブローネマルク・オッセオインテグレーション・センター)

中村 社綱(インプラントセンター・九州)

豊福 明(東京医科歯科大学歯科心身医学分野)

インプラント治療における難症例とは、骨量が少ない症例や顎位が定まらない症例あるいは重度の歯周疾患の既往を持つ症例なのだろうか？ 歯科インプラント治療の臨床応用が始まって50年、インプラント治療の進歩は現在も目覚ましい。診断領域においてはCBCTやシミュレーションソフトの普及、外科領域においては、骨補填材料の進化に伴う骨造成の適応拡大、抜歯即時埋入やAll-on-4に代表される即時荷重など治療期間を短縮したプロトコルの採用、補綴領域においてはCAD-CAMによる上部構造の作製など、その新しいテクノロジーは枚挙にいとまがない。しかし、長期的なオッセオインテグレーションを達成しさえすれば患者は満足するのだろうか？ 高い審美性を有する上部構造を作製しさえすれば患者は納得するのだろうか？

一口腔内でlongevityを維持する歯科治療を目指すために、精緻な診査や高度な治療技術の重要性に異論を差し挟むところはないが、それら人事を尽くしても想定外の愁訴が生じるなど対応に苦慮する事態に遭遇してしまうことがある。たとえ100例首尾よく治療できたとしても1例でもこのようなケースに遭遇すると非常に気分が重くなるものである。このような場合の解決の糸口として、患者の心理状態の見抜き方や患者-歯科医師間とのコミュニケーション、あるいはその対応が先んじて肝要ではないだろうか。

今回インプラント埋入後の耳鳴りや肩こり等の不定愁訴やファントムバイトシンドロームに代表される咬合異常感、インプラント周囲の疼痛など現場の歯科医師が判断に悩む様々な症例を呈示し、日本におけるインプラントの第一人者である小宮山彌太郎先生、中村社綱先生に達人の“嗅覚”と“返し技”について座談会方式で討議していく。

こみやま や たらう
小宮山 彌太郎 略歴

1971年 東京歯科大学卒業
1976年 東京歯科大学大学院修了 東京歯科大学
歯学博士(歯科補綴学専攻 故関根 弘教授
に師事)
1976年 東京歯科大学歯科補綴学第三講座助手
1977年 東京歯科大学歯科補綴学第三講座講師
1980～1983年
スウェーデン、イェーテボリ大学歯学部
歯科補綴学、および医学部解剖学客員研
究員(故ヘデゴード教授、故ブローネマ
ルク教授に師事)
1990年 東京歯科大学歯科補綴学第三講座助教授
1990年 東京歯科大学 辞職
1990年 東京歯科大学歯科補綴学第三講座非常勤
講師
1990年 ブローネマルク・オッセオインテグレイ
ション・センター開設
2003年 大阪大学歯学部非常勤講師
(現在にいたる)
2006年 東京歯科大学臨床教授(現在にいたる)
2006年 神奈川歯科大学客員教授(現在にいたる)
2011年 日本補綴歯科学会副理事長(2015年6月
まで)
2012年 昭和大学歯学部客員教授(現在にいたる)
2013年 徳島大学歯学部非常勤講師
(現在にいたる)

なかむら たかつな
中村 社綱 略歴

1975年 神奈川歯科大学卒業
1975年 九州大学歯学部付属病院医員
1977年 九州大学歯学部文部教官助手
1980年 中村歯科医院開設
1990年 医療法人スマイルライン理事長就任
1994年 学位取得(歯学博士)
1998年 インプラントセンター・九州 開設
現 在 熊本大学医学部臨床教授
島根大学医学部臨床教授
デンタルコンセプト21最高顧問

過去の主な著書・論文

「インプラント上部構造の現在」(共著):
クインテッセンス出版(1992年)
「オッセオインテグレイテッドインプラント、そ
の確実で多様な臨床応用法」(共著):
クインテッセンス出版(1993年)
「GTRの科学と臨床」(共著):
クインテッセンス出版(1993年)
「ITIインプラントの理論と実際」(共著):
第一歯科出版(1993年)
「GBRの歯科インプラントへの応用」(共訳):
クインテッセンス出版(1995年)
「DVDジャーナル Nobel Guide(TM)コンセプト
による無歯顎症例への即時荷重の実際」(2009年)
「日本人のための最新 All-on-4 マニュアルー全
顎即時荷重インプラント治療を成功に導くため
に」(共著):医歯薬出版(2011年)

とよふく あきら
豊福 明 略歴

1990年3月 九州大学歯学部卒業
1990年4月 福岡大学医学部歯科口腔外科学教
室入局
1992年10月 福岡大学病院助手(歯科口腔外科)
2000年10月 博士(医学)取得(福岡大学)
「いわゆる口腔心身症の入院治療に
ついての臨床的研究ー治療技法の
検討と病態仮説の構築についてー」
2001年4月 福岡大学病院講師(歯科口腔外科)
2007年3月 東京医科歯科大学大学院 歯学総
合研究科 頭頸部心身医学分野
教授
2009年4月 同歯科心身医学分野 教授
(分野名変更)
現在に至る

所属学会

2009年1月 日本歯科心身医学会理事長
(2014年12月三期満了)
2007年4月 口腔病学会理事
2008年4月 日本有病者歯科医療学会評議員
2009年6月 日本心身医学会特別委員